



# 水泳部部長の受難 番外編

スタンプ

## はじめに

数ある作品の中から、「水泳部部長の受難」に出逢っていただき、読んでいただきありがとうございます。

今回の番外編では「水泳部部長の受難」で登場した主人公ハジメの親友、【野球部エース米田】をメインに描いています。「水泳部部長の受難」で登場したシーンは、米田の心情や描写をメインとし極力省いています。まだ描かれていない場面での米田の苦悩もご覧ください、、、、。

「水泳部部長の受難」のあらすじは以下のとおりです。

水泳部部長のハジメは撮られた写真や動画で脅され、対立していた監督、後輩の田中、SM バーのマスターの3人に無理やり調教される。

後輩の橋本や羽田、親友の米田の前で奴隷としてさらされたり、SM バーでのバイトの強要、知らない男たちに輪姦され、更におとされていった。

監督に新たに目をつけられた後輩の羽田、親友の米田等も次々と監督の餌食にされ、SM バーでのバイトも強制されていく中、ハジメはSM バーのバイトを辞めさせられ、売り専のバイトを強制されるようになる。

乳首ピアスをあけられ、絵具によるメッシープレイ、精神的調教のための過激露出、親友米田を調教、母の前での晒し、プリンスアルバート、フィスト等鬼畜な調教を受け、変態な奴隷に落ちていった、、、。

## 「水泳部部長の受難」の登場人物

### S 側

SM バーマスター：監督と通じており、ベテランの調教師。

水泳部監督：部員にパワハラをしており、ハジメと対立していた。ハジメを奴隷にすることを仕組んだ人物。現ハジメのご主人様。

田中（後輩 2 年）：監督と仲が良く、本人も同期の木村をパシリにしたりしていた。ハジメにそのことを何度も注意されており、反感を持っていた。監督と一緒にハジメを陵辱している。

橋本（後輩 1 年）：監督と田中がハジメを虐める際ノリよく参加。

### M 側

近藤ハジメ（水泳部部長）：主人公。正義感強く、パワハラやいじめにあっている部員を助けていた部長。

木村（後輩 2 年）：ハジメ同様弱みを握られ無理やり奴隷にされてしまった。

羽田（後輩 1 年）：ハジメへのいじめに積極的でなく新たな標的にされた。

米田（親友）：ハジメの学科の同級生。野球部エース。監督がハジメのメッセンジャーをチェックしている際に米田のことを知り、外見も気に入り、新たな獲物とした。同性にももてる好青年。

田辺（水泳部 OB）：ハジメが尊敬していた元部長。ハジメと同じく正義感が強く、人望も厚い部長だった。

## 始動

最近ハジメの様子がおかしい。遊びに誘っても毎回断るし、授業の際に一緒になってもどこか暗い。何か悩みでもあるのかと聞いたが、「大丈夫だ、なんでもない。」とほほ笑むだけ。ハジメは人のことを気遣うくせに、自分のことはなんでも自分で解決しようとするところがある。だから、米田は余計に心配になっている。

米田とハジメは大学で知り合ったのだがとても馬が合い、部活がないときには、お互いの部屋で飲み明かしたり、突然「ドライブに行きてえ」となれば二人で無計画に旅行にも行ける。二人でいることが当たり前で、沈黙すらも苦痛ではなくて、友達の中で「親友」という区分をもしするのであれば、米田にとって、「こいつだ」と思える存在だ。

最近よくハジメと一緒にいるハジメの後輩の「田中」という子と話す機会があり、連絡先を聞かれ交換していたため、その子にこっそり部活のことをさぐりを入れてみたが、水泳部では「特に変わりはない」とのことだった。

ハジメからは家族については仲良しエピソードしか聞いたことがない。とすると、新しく始めたバイトで何かあったのか、、、？

このラインより上のエリアが無料で表示されます。

そんなことを考えながら、米田はハジメにバイトを探しているという口実でハジメのバイトのことを聞いてみたのだ。

すると久しぶりにハジメからテンションの高い返事が返ってきた。

「一回見に来いよ！大人向けのバーでちょっと変わってるところだけど、仕事は簡単だし米田も絶対気に入る。お前と働けたら嬉しいわ！俺は忙しくて付き添えないけど、その日は後輩の田中が案内するから！」

そんな返事を見て米田も嬉しくなるが、あんなに元気がなかったのに、なんか積極的だな、、、と逆に心配にもなる。

あいつが変なのはバイトのせいじゃなかったってことか。田中はハジメのバイト先行ったことあるんだな。まあ、俺も一回見に行ってみるか、、、。

バイト見学の日、田中に連れられてバーを訪れた米田。

（うわ、、なんだよここ。）

ハーネス、首輪、レザー素材のケツ割れにバイブを挿入、顔はレザー製の目元だけメッシュになっているマスクを身に着けた男が出迎えてくれる。

店員：いらっしゃいませ、ご主人様！

そんな奇抜な格好をした男が土下座している姿に驚く米田。また他の席では他の店員が巨体な年配の男性の膝の上に乗し、濃厚なキスをしている。

（うわ、、超マニアックなゲイバーか？こんなところにハジメがいるわけないだろ、、、。）

そう思って聞いてみるが、「間違いない。」と田中は言う。田中は来たことがあるらしく、余裕そうな表情で見ている。

キスをしていた店員は尻を突き出し、男にバイブをいじられていた。男同士のプレイに抵抗を感じながらも、その若く引き締まった肉体の店員からなぜか目が離せなかった。その店員は天井から片足だけ床についた状態で吊るされ、履いていた下着も脱がされると、そのペニスは天に向かって膨張し、びくついていた。

（うわ、、こんなことされて、喜んでんのか、、、。）

その後は、その格好のまま、鞭及び蠟燭によるしつけがはじまる。男は苦しうにしながらも、ペニスは依然としてその硬さを維持している。店員の尻をバイブで責めていた男が自らのペニスを取り出し、その店員を犯し始める、、、。

じゅぽじゅぽ、、じゅぽじゅぽじゅぽ、、、。

男同士のセックスの生々しい音が、バーに響き渡る。

（うわ、、あいつ、、こんなこと望んでやってるのか、、人に見られながら勃起して、、すげえな、、、。）

茫然と見てみると、マスターがその店員のマスクをはがすと言い出す。しかも流れで自分がはがすことに。「ご主人様、、どうか変態奴隷の私のマスクをはずして、素顔とおでこに貼られている身分証明書を皆さまの前でさらさせていただきます。お願いします。」そう懇願する無様な店員を憐れみながら、マスクを外してやった。